

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	1203 フィールドで学ぶ地域社会Ⅰ			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	許可			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	水曜5限				
教室	E303(メディア室7)				
代表教員	岩本 陽児				
担当教員	岩本 陽児				
テーマと到達目標	まつりを楽しみ、その意味を考える。新潟フィールドワークを通じ、地域の歴史に根差した伝統文化を体験的に知る。ハレの日である祭りはいかに地域に支えられ、地域を作ってきたかを理解し、自分の言葉で語れるようになる。				
概要	新潟県西端にある糸魚川市能生町では、毎年4月24日に白山神社で春季大祭が開催される。室町時代から伝わるこの祭りは、当日早朝の稚児行列に始まり、「七度半の使者」、獅子の巡行や神輿のお走り、国指定の重要無形民俗文化財である舞楽11曲の奉納などが、日没後まで延々と続く。日本海に沈む夕日を背景に舞われる「陵王」と、続く神輿の御旅所帰りは圧巻である。このフィールド授業では終日この祭りを参与観察し、見た事、聞いたこと、感じたことをレポートにまとめる。なお、神社裏山の森は天然記念物指定を受けており、民俗資料館（有料）も隣接する。身体表現、地域社会、歴史、民俗、自然など、各自の関心に引き付けて考察されたい。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	能生白山神社大祭の概要紹介				対面授業
第2回	旅行計画の相談				対面授業
第3回	（現地フィールドワーク）				対面授業
第4回	振り返りと、報告書作りに向けた相談。発表の順番決め。				対面授業
第5回	学生発表と意見交換				対面授業
第6回	学生発表と意見交換				対面授業
第7回	学生発表と意見交換				対面授業
第8回	（Reading Week）				対面授業
第9回	学生発表と意見交換				対面授業
第10回	学生発表と意見交換				対面授業
第11回	学生発表と意見交換				対面授業
第12回	学生発表と意見交換				対面授業
第13回	学生発表と意見交換				対面授業
第14回	学生発表と意見交換				対面授業
第15回	完成原稿の持ち寄り、印刷、製本				対面授業
成績評価の基準	平常点50：レポート（報告書）50				
履修にあたっての留意事項	現地集合、現地解散を原則とする。費用の一例として、東京駅～直江津高速バスが最安値で片道9000円、直江津～能生（えちごトキめき鉄道）は片道670円（2月現在）。 希望者にはオプションとして翌日以降、フォッサマグナミュージアム・縄文遺跡の長者原考古館（有料）やヒスイ海岸などを案内する。このフィールドワークには身体表現、地域社会、歴史、民俗、自然など多様な切り口があり、学生各自の関心に引き付けて理解を深めてもらいたい。 ★学期の後半には事前に用意した原稿に基づいて発表してもらう。毎週1～2時間の家庭学習が必要となる。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					

【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	
---------------------	--

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	使用しない。	教科書(ISBN)	
参考文献		参考文献(ISBN)	